



Title	<研究活動報告>スラブ研究施設図書報告(1970)
Author(s)	秋月, 孝子
Citation	スラブ研究, 15, 176-177
Issue Date	1971
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/5013">http://hdl.handle.net/2115/5013</a>
Type	bulletin (article)
File Information	KJ00000112937.pdf



[Instructions for use](#)

## スラブ研究施設図書報告 (1970)

秋 月 孝 子

スラブ研究施設の蔵書内容は現在の研究部門、即ち歴史・政治・経済・国際関係・文学・法律の各分野にわたり、蔵書数は昭和45年10月末日現在で洋書13,535冊、和書1,224冊、マイクロフィルム322リールに達している。蔵書数そのものは、予算の関係と設立後の年数が浅いことが相まって少ないが、内容はそれなりに厳選されている。スラブ地域の研究と一口に云っても、その範囲は非常に広く、これらの研究資料が扱う言語は、露・英・独・仏の各語は勿論、ウクライナ語、ブルガリア語、ポーランド語、チェコ語、セルボ＝クロアチア語、スロベニア語、ルーマニア語、フィンランド語、等に及んでいる。スラブ諸国のそれぞれの国の百科辞典をはじめ、各国語の辞書類、各専門分野の事典、主題別の書誌等も最小限基本的なものは揃っている。特にロシア史に関するものは、全体の蔵書冊数の中でしめる割合も多く、17～18世紀から現代に至る基礎的な研究資料が集められている。又ロシアの場合、文学は社会的諸問題への関心を示し、思想及び政治と深いつながりを持ち、ロシアの歴史の運命に大きな役割を果たしてきたが、19世紀半ばから後半にかけての自由思想弾圧の強い時代の作家達の作品や評論も数多い。これらの具体的な内容を示すものとして「欧文図書目録」Library Catalogue of the Slavic Institute, Hokkaido University, 1953-1965. がある。洋雑誌は種類の上で多いとはいえないが、限られた予算の中で系統的に選択されて集められ、国内において入手不能のものはマイクロフィルムで補われている。ちなみに1971年度においては、71種類の定期刊行物が諸外国へ発注されており、このうちロシア語のものは38種類である。小冊子ではあるが、マイクロを含めた「欧文雑誌目録」The List of the Periodicals at the Slavic Institute, Hokkaido University, 1953-1967. が1967年に発行されている。

マイクロフィルムは基本的な雑誌の欠号をうめているのみでなく、研究上必要でありながら国内では入手出来ない単行本を複写したものも沢山ある。「日本におけるスラブ研究」という特殊性の故に、国内で見つからない資料は、スラブ関係の蔵書を豊かに備えている外国の種々の図書館へ複写を依頼してマイクロフィルムの形で所蔵している訳である。このような状況の当然の結果として、マイクロリーダー室が独立に設けられ、フィルムの管理は云うまでもなく、利用カードも一般の図書と同様に作成されており、近くマイクロフィルムの所蔵目録が出版される予定である。

当施設においてはソビエト、東欧諸国、米国、カナダ、フランス等の図書館や研究機関とも文献の交換を行っているが、主なものは、ソビエト科学アカデミーの図書館、シチュドリン図書館、チェコスロヴァキアの国立図書館、米議会図書館、ニューヨーク公共図書館、スタンフォード大学のフーヴァー研究所である。所蔵雑誌の中には、上述の図書館や研究機関から『スラヴ研究』との交換として寄贈されているものも数多い。

ここ数年間の増加図書冊数は下記の通りである。

スラブ研究施設図書報告

年度	種類	洋書	和書	マイクロフィルム
昭和41年		803	82	12
昭和42年		788	46	0
昭和43年		1,070	34	92
昭和44年		689	37	9
昭和28~44年		13,198	1,224	315

比較的最近購入した図書の中で代表的なものとして次のようなものをあげる事が出来る。

1. Деятели революционного движения в России ; био-библиографический словарь, от предшественников декабристов до падения царизма. Под ред. Вл. Виленского-Сибирякова [и др.] Том 1, час. 1-2, том 2, вып. 1-4, том 3, вып. 1-2, том 5, вып. 1-2. Мос., 1927-34.
2. Ленин, В. И. : Ленинский сборник. Изд. 2. Том 1-36, и указатель Ленинским сборникам 1-20. Мос. и Лнг., 1924-59. [Nendeln, Liechtenstein, Kraus Reprint, 1966]
3. Экономическое Обозрение ; ежемесячный журнал. Мос., 1923-30. 1(1923)-8 (1-3)(1930)//
4. Communist International. Protokoll. [Milano, Feltrinelli Giangiacomo, 1967]  
 1st Congress, Mos., 1919.  
 2nd Congress, Mos., 1920.  
 3rd Congress, Mos., 1921.  
 4th Congress, Mos., 1922.  
 5th Congress, Mos., 1924.  
 6th Congress, Mos., 1928. Bd. 1, 3-4.  
 7th Congress, Mos., 1935.
5. Unter dem Banner des Marxismus. Moskau & Leningrad, 1925-36. [Milano, Feltrinelli Giangiacomo, 1967] Jg. 1(1925/26)-10(Ht. 1) (1936)

諸外国のすぐれたスラブ研究所の現状とはくらぶべくもないが、種々の資料のリプリント版の普及により質量共に豊かな資料収集の可能性が与えられていることは何よりである。今後もこの紙面をかりて、簡単な図書室の現状の紹介が行われる予定である。

### 国内国外からの主な来訪者

- 1970年 4月 パイプス (R. PIPES) 教授 (ハーバード大学ロシア研究所長)  
 1970年 5月 ポルタル (R. PORTAL) 教授 (パリ大学スラブ研究所長)  
 1970年 7月 ニーマイヤー (G. NIEMEYER) 教授 (ノートルダム大学教授)  
 1970年10月 和久利誓一教授 (東京外国語大学ロシア語科教授)  
 “ 石山正三教授 (東京外国語大学ロシア語科教授)